



第九たいむず

No.33 2017.2.9 通刊1223号 担当 Matsu

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX:027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)

インフルエンザ、ノロウイルスなど周りの多くの方がかかっています。まだまだ乾燥した寒い日が続きますので、しっかりと手洗いやうがいをして、体調管理に気を付けていきたいものです。

◆ 先週のおさらい

♪八木節♪

- ・P24 193小節から手拍子、足拍子(左足)が始まります。
手・足・掛け声と3つの動作が要求されます。まずは一つずつ、そして二つ…といった具合に練習を行ってみてください。

♪ハバネラ♪

- ・P13 三段目全パート “こがれる” はスタッカートで！
- ・P14 1段目3小節 全パート “あたしに” もスタッカートで！
- ・P14 下1の段 笑 は中途半端に笑わず、キチンと笑いましょう！

♪闘牛士の歌♪

- ・P32 9小節目 エスカミーリョ登場の前に歓声を上げる。

◆ 防寒対策のお願い

防寒対策として、各自カイロや上着などをご準備ください。くれぐれも風邪をひかないようにご自身で対策をお願いします。

◆ 楽譜を販売しています

楽譜はカルメン2冊、日本の歌1冊、合計3冊で900円です。受付で買い求めください。

全員同じ楽譜を使っていますので、記名がないとだれのものかわかりません。受取った楽譜はすぐに、ご自分の物とわかるように名前を記入しましょう。

◆ 2017年度 団員登録受付中！

登録の申し込みの際には、「氏名」「住所」以外に必ず「メールアドレス」「連絡先の電話番号」の記入をお願いいたします。天候などの影響により、急遽中止や変更となる場合があります、皆さまにお知らせする必要があります。また、メールアドレスや電話番号が変わった際も必ず、パートリーダーまでお知らせください。またお誕生日を公表したくない場合も受付にお申し出ください。

◆ イオン黄色のレシートキャンペーン 「2/11はイオンへ行こう！」

今月11日(土)、イオンでお買い物をしたら、当団のBOXに黄色いレシートを入れてください。たいむずの用紙、インク代などに活用されています。ぜひ、ご協力をお願いいたします！
なお、今期は今回が最終となっておりますので、奮ってご参加ください。

◆ 三枝成彰著「大作曲家たちの履歴書」②Mozart 赤羽洋子先生

アマデウスと言う名前は神に愛された者という意味があります。Mozart は風呂に沈むと皮膚からばい菌が入ると頑なに信じ生涯入浴しないで体を拭くだけだったとか！あんなにきれいな音楽

なのに彼の傍に行ったら臭いように思いませんか？もしも温泉に入ったらもっと美しい音楽を作曲したのかしら？因みに Beethoven は温泉好きでした。

生年月日 1756年1月27日(現在261歳)オーストリア・ザルツブルグ

没年月日 1791年12月5日{226年前死亡}オーストリア・ウィーン

享年35歳 梅毒説・毒殺説・詳細は不明

人種 父親レオポルト(ドイツ系オーストリア人)母親アンナマリア(ドイツ系オーストリア人)

容姿 身長155cm(かなり背が低い)、青みがかった褐色の瞳、色白・やせ形・面長

性格 下ネタ好き・明朗快活・冗談好き・落ち着きがない

好物・趣味 ブランデー系カクテル、ワイン好き、 買い物・引っ越し・乗馬

友人関係 社交界に知人が多い

尊敬した作曲家 Bach

特徴 音楽的才能はまさに神童

恋愛関係 惚れっぽい。マリーアントワネットと同じ年。断頭台の露と消えたフランス王妃が最初の恋愛相手であったかもしれない

配偶者 コンスタンツェ

収入 亡くなった年には日本円で5000万円の収入があったと言われているが死後手元にあったのは60万円、借金が800万円。浪費癖から借金を重ねた。

彼の個人レッスンは83,000円と高額で弟子が4人いれば(332,000円)食べていけると言っていた。

作曲料 フィガロの結婚 139万円

ドン・ジョバンニ 139万円

コシファンツェ 278万円

レクイエム(前金) 70万円

社会的地位は得られず、宮廷楽長の地位に着けないで最終肩書きはシュテファン寺院副楽長 Mozart は自分の作品の管理・分類・保存には無関心だった。19世紀の研究家ケツヘルは Mozart の作品を愛し年代順に通し番号を付けて分類し目録として出版した。現在もそれが作品番号として使われている。

◆ 今後の予定 2017年(平成29年)

2月19日(日) すみだの第九(有志参加)

4月16日(日) メイコンサート特別練習(高崎市中央公民館)

5月18日(木) 総会+ミニコンサート(練習会場)

5月28日(日) メイコンサート(群馬音楽センター)

◆ 2月4日(土)蝶々夫人 に行っていました。 ソプラノ 松島聖子

さる2月4日、音楽センターにてプッチーニの歌劇「蝶々夫人」の公演が行われました。平成28年度全国共同制作プロジェクトの一環です。全2幕の日本語字幕付き原語上演でした。目玉は日本人の笈田ヨシさんの〈新演出〉で、舞台には障子や、行灯といったものを使い、日本的な雰囲気漂っておりました。主役の蝶々さんは今年のニューイヤーオペラにも出演した中嶋彰子さん、ピンカートンはイタリアオペラ界でも人気の高いロレンツォ・デカーロさんでした。合唱にはわれらが高崎第九から2名〈ソプラノ 飯島法子さん、テノール 飯田英世さん〉が高崎オペラ合唱団として参加されておりました。

残念ながらお二人を識別できなかったのですが、合唱の絶妙なpppでの高音など、素晴らしい出来ではなかったかと思います。是非、お二人からお話をうかがいたいですね！

